

アメリカ合衆国対日政策文書集成 **フォード政権期文書 刊行計画**

フォード大統領文書Ⅰ 日米関係

第38期	田中角榮・フォード首脳会談関係文書ほか	(全10巻) 総2956頁・揃本体300,000円+税
第39期	国家安全保障会議機構文書・日本関係ほか	(全10巻) 総2260頁・揃本体300,000円+税
第40期	国家安全保障会議東アジア・太平洋地域担当文書ほか	(全10巻) 総2556頁・揃本体300,000円+税

フォード大統領文書Ⅱ 米中関係

第41期	フォード、キッシンジャー訪中間関係文書ほか	(全10巻) 総2292頁・揃本体300,000円+税
第42期	フォード・中国要人会議録ほか	(全10巻) 総2500頁・揃本体300,000円+税
第43期	NSC東アジア・太平洋地域担当中国関係文書ほか	(全10巻) (予価) 揃本体300,000円+税 2018年11月刊行予定

フォード大統領文書Ⅲ 米韓関係

第44期	首脳・要人会議録、国家安全保障会議機構文書ほか	(全10巻) (予価) 揃本体300,000円+税 2019年5月刊行予定
------	-------------------------	---------------------------------------

アメリカ合衆国対日政策文書集成 **ニクソン政権期文書 (全18期完結)**

ニクソン大統領文書Ⅰ 日米関係

第20期	佐藤榮作・ニクソン首脳会談関係文書ほか	(全10巻) 総2184頁・揃本体300,000円+税
第21期	佐藤政権期日本・沖縄関係ホワイトハウス文書	(全10巻) 総3152頁・揃本体300,000円+税
第22期	繊維問題・航空交渉関係ホワイトハウス文書	(全10巻) 総2560頁・揃本体300,000円+税
第23期	ピーターソン大統領補佐官繊維関係文書	(全10巻) 総2554頁・揃本体300,000円+税
第24期	キッシンジャー関係文書ほか	(全10巻) 総3454頁・揃本体300,000円+税
第25期	田中角榮・ニクソン首脳会談関係文書 田中角榮政権期ホワイトハウス文書、天皇・ニクソン会談関係文書	(全10巻) 総4310頁・揃本体300,000円+税

ニクソン大統領文書Ⅱ 米中和解

第26期	国家安全保障会議文書 1971年7月まで	(全10巻) 総2630頁・揃本体300,000円+税
第27期	国家安全保障会議文書 1971年10月まで	(全10巻) 総2576頁・揃本体300,000円+税
第28期	国家安全保障会議文書 1972年3月まで	(全10巻) 総3202頁・揃本体300,000円+税
第29期	キッシンジャー・オフィス文書 1972年3月まで	(全10巻) 総3110頁・揃本体300,000円+税
第30期	国家安全保障会議文書 1972年3月～12月 キッシンジャー・オフィス文書 1972年3月～12月	(全10巻) 総3306頁・揃本体300,000円+税
第31期	国家安全保障会議文書 1973年1月以降 キッシンジャー・オフィス文書 1973年1月以降	(全10巻) 総3424頁・揃本体300,000円+税

ニクソン大統領文書Ⅲ 国家安全保障会議機構文書 (NSSM、NSDM)

第32期	国家安全保障会議機構文書 日本・アジア関係	(全10巻) 総2900頁・揃本体300,000円+税
第33期	国家安全保障会議機構文書 中国関係	(全10巻) 総2626頁・揃本体300,000円+税
第34期	国家安全保障会議機構文書 韓国関係	(全10巻) 総2868頁・揃本体300,000円+税
第35期	国家安全保障会議機構文書 国防・核	(全10巻) 総3090頁・揃本体300,000円+税
第36期	国家安全保障会議機構文書 年次外交報告・東西貿易・COCOM	(全10巻) 総3204頁・揃本体300,000円+税

国務省文書・ニクソン大統領図書館新規公開文書

第37期	日米外交防衛問題 1973年 ニクソン大統領図書館新規公開文書	(全10巻) 総3242頁・揃本体300,000円+税
------	------------------------------------	-----------------------------

アメリカ合衆国対日政策文書集成 **沖縄返還期 (全12期完結)**

第8期	日米外交防衛問題 1964年 付・「極東担当国務次官補及び東アジア課主要文書」「ウィリアム・バンディ国務次官補訪日関連文書 1964年9月27日～10月1日」	(全10巻) 総3236頁・揃本体220,000円+税
第9期	日米外交防衛問題 1965年 付・1965年1月佐藤榮作首相訪米会議録	(全9巻) 総3016頁・揃本体220,000円+税
第10期	日米外交防衛問題 1966年 付・米国務長官訪日会議録	(全9巻) 総2704頁・揃本体220,000円+税
第11期	日米外交防衛問題 1967年	(全11巻) 総3902頁・揃本体250,000円+税
第12期	日米外交防衛問題 1968年	(全10巻) 総3632頁・揃本体250,000円+税
第13期	日米外交防衛問題 1969年・日本編 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 総3244頁・揃本体250,000円+税
第14期	日米外交防衛問題 1969年・沖縄編	(全10巻) 総2968頁・揃本体250,000円+税
第15期	日米外交防衛問題 1970年 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 総3684頁・揃本体250,000円+税
第16期	日米外交防衛問題 1971年・日本編 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 総2840頁・揃本体250,000円+税
第17期	日米外交防衛問題 1971年・沖縄編	(全10巻) 総3196頁・揃本体250,000円+税
第18期	日米外交防衛問題 1972年・日本 政治・外交編	(全10巻) 総2914頁・揃本体250,000円+税
第19期	日米外交防衛問題 1972年・日本 防衛問題および沖縄編 補遺・尖閣諸島関連文書およびトップシークレット文書	(全10巻) 総2650頁・揃本体250,000円+税

【以上、全12期全119巻の本体価格合計は2,910,000円となります】

アメリカ合衆国対日政策文書集成 **安保改定期 (全7期完結)**

第1期	日米外交防衛問題 1959～60年	(全9巻) 総3548頁・揃本体190,000円+税
第2期	日米経済問題 1959～60年	(全11巻) 総4604頁・揃本体250,000円+税
第3期	日本の国内事情 1960年	(全9巻) 総3392頁・揃本体210,000円+税
第4期	日米外交防衛問題 1957年	(全10巻) 総3392頁・揃本体220,000円+税
第5期	日米外交防衛問題 1958年 補遺・1960年岸信介首相訪米会議録ほか	(全8巻) 総3020頁・揃本体210,000円+税
第6期	日米外交防衛問題 1955年	(全9巻) 総2940頁・揃本体220,000円+税
第7期	日米外交防衛問題 1956年 補遺・国家安全保障会議(NSC)公式政策文書	(全10巻) 総3664頁・揃本体220,000円+税

【以上、全7期全66巻の本体価格合計は1,520,000円となります】

アメリカ合衆国対日政策文書集成 **アメリカ総合参謀本部 (全2期完結)**

アメリカ総合参謀本部資料 1948～1953年	(全16巻) 総5108頁・揃本体480,000円+税
アメリカ総合参謀本部資料 1953～1961年	(全15巻) 総4640頁・揃本体450,000円+税

※品切れの場合、ご要望に応じてオンデマンド出版等を検討させていただきますが、価格が変更となる場合もございますので、ご了承ください。

DOCUMENTS ON UNITED STATES POLICY TOWARD JAPAN
Ford Presidential Materials

アメリカ合衆国対日政策文書集成 (第42期)

フォード大統領文書

(全10巻)

2018年
5月刊行

Ⅱ 米中関係

首脳・要人会議録 1973-77
国際経済問題スタッフ文書 1975-76
スコウクロフト外遊電文 1975-77
キッシンジャー・スコウクロフト・
ウェストウィング・オフィス文書 1969-77
国家安全保障会議機構文書 1974-77
フォード議員文書

監修：石井修

台湾問題の平和的解決はありえないと見る
中国政府との葛藤に悩む米政府

ニクソン大統領は、政権2期目の終りに近い1975年末から76年までには対中国交正常化を成し遂げる意欲を示していたが、ウォーターゲイト事件により74年8月に辞任に追い込まれた。75年4月にカンボジア、南ヴェトナムが相次いで共産化されるという事態が発生し、あとを継いだフォード副大統領は中国問題解決の余力を失った。フォード大統領訪中後の両国関係は冷え切り、米中国交正常化への動きは停滞した。

その一方、中国国内は内政問題で揺れていた。1976年は、1月8日の周恩来死去、4月5日の第一次天安門事件、4月7日の鄧小平失脚と華国鋒の総理任命、7月28日の大地震、9月9日の毛沢東死去、10月6日の「四人組」ほか30人余の一斉逮捕と続いた。「四人組」の逮捕とともに、鄧小平の新たな名誉回復の問題が持ち上がった。

両国の国交正常化には「台湾問題」が障壁となっていた。平和的解決を望む米国政府に対し、毛沢東をはじめ中国政府は軍事的解決しかないと見ており、米側の発言に「一つの中国」の原則をそこなうと強く反発する。本期収録文書から、両国政府の葛藤が見てとれる。

お奨め先

国際関係論 政治学・政治史 アメリカ現代史
中国現代史 アジア現代史 戦後経済史
戦後外交史 日米関係 日本現代史
大学図書館 公共図書館

◎監修 石井修 (一橋大学名誉教授)
◎造本体裁 A4判・上製函入
全10巻・総2500頁
本体300,000円+税
ISBN978-4-7601-4987-2 C3331

取	
扱	
店	

柏書房

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13
Tel.03-3830-1891 Fax.03-3830-5337
URL http://www.kashiwashobo.co.jp
E-mail eigyo@kashiwashobo.co.jp

「台湾問題」の解決より中米関係正常化を望む毛沢東

THE WHITE HOUSE
WASHINGTON
~~SECRET~~/SENSITIVE/EXCLUSIVELY EYES ONLY
MEMORANDUM OF CONVERSATION

ARTICIPANTS:
Ch'iao Kuan-hua, Vice Foreign Minister of the United Nations
Huang Hua, PRC Permanent Representative to the United Nations
Chi Tsung-chih, Deputy Director, West European Department, PRC Ministry of Foreign Affairs
Chang Han-chih, Deputy Director, Asian Department, PRC Ministry of Foreign Affairs
(Interpreter)
Kuo Chia-ting, Second Secretary at the PRC to the U.N. (Notetaker)

Henry A. Kissinger, Secretary of State
Philip Habib, Assistant Secretary of State for Asian and Pacific Affairs
Chief-Designate of the United States Delegation in Peking
Director, Policy Planning Staff
James H. Dobbins, Jr., Deputy Assistant Secretary for East Asian and Pacific Affairs
Samuel R. Geilmon, Senior Staff Member, Policy Planning Council

「中台関係の平和的移行は信じられない」
キッシンジャーとの会談で、喬冠華外交部副部長(外務次官)は、「われわれは中台関係の平和的移行の可能性を信じていない」と述べた。米国側は台湾防衛へのコミットメントを放棄できないと悩んでいる。【第5巻 31-54頁】

NORMALIZATION OF RELATIONS, AND THE TAIWAN ISSUE

General Background

Your past discussions with Chinese leaders have now brought both sides to the point where negotiating terms for normalization is the major remaining issue in our bilateral relations. Former President Nixon and yourself indicated to senior PRC officials on a number of occasions that we would work to achieve a fully normalized relationship by mid-1976 at the latest; and you have reiterated to second rank officials on several instances since your November, 1973 trip to Peking that you were prepared to explore with them ways in which the U. S. could "confirm the principle of one China" as the basis for normalization.

To this mood of expectancy has now been added President Ford's private and public reaffirmations in early August of Mr. Nixon's interest in having you visit to "chart in specific terms the normalization process." To the Chinese on August 25, 1976, you indicated that by November "we would be prepared to talk in concrete terms about carrying out the process of normalizing our relationship."

While you should not feel totally boxed in by these past statements,

「台湾問題より中米関係正常化」と毛沢東
毛沢東は台湾問題の平和的解決については否定的だったが、「100年間待てる」と言った。それよりも中米関係の正常化の方が急務だと述べた。【第5巻 61-77頁】

Department of State
SECRET
NOD863
01 PEKING 01282 131624Z
OCT-01 ISO-00 /001 N
31430Z JUL 76
USLO PEKING
SECSTATE WASHDC NIACT IMMEDIATE 5955
SECRET PEKING 1282

NODIS
MEMORANDUM FOR THE RECORD
September 1, 1976
Distribution: S-RA, S, S/S, WH-PR

SUBJECT: Ambassador Gates' Meeting with the Secretary for East Asian and Pacific Affairs August 25, 1976

Ambassador Gates met with the Secretary for about 15 minutes. Also participating were Mr. Hummel, Mr. Lord and myself.

Meeting with Foreign Minister Chiao
After opening exchanges about Ambassador Gates' visit to Peking and the effects of the earthquake, the Secretary asked Ambassador Gates if he planned to stay in the US until the meeting with Foreign Minister Chiao. In discussion of the probable date of the meeting, Ambassador Gates noted that Federal Reserve Chairman Burns was scheduled to arrive in Peking after the Manila meeting, which concludes October 7 or 8, and that a New York meeting after October 1 might be possible (Ambassador Gates) in a time squeeze. The Secretary confirmed that Ambassador Gates "might as well" go to the Chiao meeting.

「台湾の戦間による解決は歴史が示すところ」
訪中した上院議員に対し、副総理の張春橋は台湾の平和的解放は不可能で、戦間が解決するのが正しいやり方だと中国の過去の歴史が教えていると強硬な発言をした。【第8巻 227-229頁】

「ロッキード事件で日本は激しいナショナリズムに向かう」と見るキッシンジャー
キッシンジャーはゲイツ連絡事務所長(大使)との会談で、ロッキード事件によって日本は激しいナショナリズムの方向に進み、米日関係は悪化するだろうと憂慮している。【第9巻 42-48頁】

日本の防衛力強化を望む華国鋒
76年7月に総理に就任した華国鋒は、三木武夫総理や宮澤喜一前外相など日本の指導者のソ連宥和策を強く批判したが、日本の防衛力強化については望ましいと述べている。【第9巻 76-81頁】

SUBJECT: Peking's Current Situation and Its Import for U.S. Policy
Brent Scowcroft
In view of recent surprising developments in the Peking scene -- the unexpected announcement of a leader, Hua Kuo-feng (Hua Guofeng) has been appointed as a long-detained Soviet leader of former President Mao's successor to prepare for you an initial report on the study at Tab A plan in the context of tension in the Republic of China which was blocked in gaining the alienated key military leader of the Party's radical faction.

華国鋒総理就任は「妥協の産物」
NSCの中国担当による綿密な中国情勢の分析。江青ら急進派と軍部が鄧小平への政権委譲を妨害し、妥協の産物として華国鋒が総理に就任した経緯などが詳述されている。【第8巻 77-100頁】

アメリカ合衆国対日政策文書集成 第42期(全10巻)の構成

- 【第1巻】 解説/目次/索引
- 【第2巻】 首脳・要人会談録 1973-77
ニクソン、嚴家淦 中華民国副総統 1973年1月5日
ニクソン、議会中国使節 1973年6月30日
キッシンジャー、黄鎮 中国大使 1973年7月6日
スコウクロフト、中国要人 1973年7月11日
スコウクロフト、中国要人 1973年7月17日
スコウクロフト、中国要人 1973年7月18日
スコウクロフト、中国要人 1973年7月24日
スコウクロフト、中国要人 1974年3月30日
フォード、黄鎮 中国大使 1974年8月9日
フォード、中国国際貿易促進委員会 1975年9月8日
フォード、議会中国使節 1975年9月8日
フォード、中国科学技術使節 1975年9月27日
フォード、カーチス、バイ、ジョンソン 上院議員(中国使節) 1976年12月17日
国際経済問題スタッフ文書 1975-76
国別文書 中国
スコウクロフト外遊電文 1975-77
中国 スコウクロフト宛 1975年11月-12月
中国 スコウクロフト宛 1975年11月-12月 (1)-(2)
- 【第3巻】 スコウクロフト外遊電文 1975-77
中国 スコウクロフト宛 1975年11月-12月 (3)-(5)
キッシンジャー・スコウクロフト・ウェストウイング・オフィス文書 1969-77
中国との交流 1-15 1973年5月11日-6月19日
- 【第4巻】 キッシンジャー・スコウクロフト・ウェストウイング・オフィス文書 1969-77
中国との交流 16-69 1973年6月19日-1975年12月24日
中国 無番号1-2 1974年8月9日-8月31日
- 【第5巻】 キッシンジャー・スコウクロフト・ウェストウイング・オフィス文書 1969-77
中国 無番号3-9 1974年9月2日-1975年2月28日
- 【第6巻】 キッシンジャー・スコウクロフト・ウェストウイング・オフィス文書 1969-77
中国 無番号10-17 1975年3月13日-1975年8月31日
- 【第7巻】 キッシンジャー・スコウクロフト・ウェストウイング・オフィス文書 1969-77
中国 無番号18-25 1975年9月4日-1976年1月30日
- 【第8巻】 キッシンジャー・スコウクロフト・ウェストウイング・オフィス文書 1969-77
中国 無番号26-32 1976年2月6日-7月31日
- 【第9巻】 キッシンジャー・スコウクロフト・ウェストウイング・オフィス文書 1969-77
中国 無番号33-39 1976年8月1日-1977年1月14日
- 【第10巻】 国家安全保障会議機構文書 1974-77
NSSM 212 中華民国安全保障支援 (1)-(7)
NSDM 261 中国への核の売却 (1)-(3)
NSDM 339 台湾の米軍勢力削減 (1)-(4)
NSC-U/SM-163 太平洋の紛争中の諸島
NSC-U/N-140 海洋法 次官会議会合
NSC-U/N-141 海洋法
米中航空路連絡
フォード議員文書
1953年のフォード・蒋介石会談についてのニュースレター報告

アメリカ合衆国対日政策文書集成を推薦します (敬称略・順不同)

元国際教養大学理事長・学長(故人) 中嶋嶺雄 中央大学名誉教授 滝田賢治
立正大学特任教授 増田弘 立教大学教授 佐々木卓也

「妥協の産物」として就任した華国鋒総理は、日本の防衛力強化を望んだ